

## 事務事業評価における総括

部 局 名	教育推進部	記入責任者	白鳥 慶記
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育推進部の政策的事業において、126 事業に取り組みました。このうち、S 評価が 107 事業、A 評価が 12 事業、C 評価が 2 事業、実績なしが 5 事業という結果になりました。</p> <p>教育推進部は、学校運営の指導や教職員の人材育成など学校教育に関する事業、公民館や体験学習センターなどの施設で行う社会教育に関する事業が所管しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症まん延防止対策として公民館等の施設を閉館したため、一部の施策指標の実績値に影響しましたが、一定の成果はあったと考えます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした青少年課の「子ども会育成事業」は、ここ数年子どもたちが参加しやすい夏休みの開催が、酷暑により難しくなっていることに加え、茅ヶ崎市子ども会連絡協議会（以下「市子連」という。）会員の減少もあり、目標値を達成できなかったと考えます。子ども会育成事業の目的は、子ども会活動をより活発にすることを目的に実施しており、学区や年齢を超え、子ども同士が交流することで、子どもの社会性を育成するとともに、子ども会の楽しさを実感し、加入者増につながるきっかけとなることを目指しています。そのため、今後は、できるだけ多くの子どもが参加しやすい時期を設定するとともに、子どもの参加意欲を高める企画案を市子連と協議していきます。</p> <p>また、C 評価とした社会教育課の「市指定重要文化財旧和田家・旧三橋家保存整備事業」については、入札条件等の整理に時間を要したため、入札時期、設計及び工事着手を令和 2 年度に延期しましたが、令和 2 年度中に旧和田家の改修工事及び旧三橋家の改修設計は完了する予定です。今後は、旧三橋家の改修工事に着手しますが、事業量及び事業費を再度精査し、整備を進めていきます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、公民館等の利用者が、まん延前の状況に回復していない状況です。地域づくりや生きがい創出などには、公民館等に赴き、人と直接に交流した教育活動が必要と考える一方で、ICT を活用した授業や社会教育講座等を実施など、新たな教育活動の実施方法を検討する必要があると考えます。</p> <p>今後、厳しい財政状況のもと、総合計画や教育基本計画などの考え方にに基づき、施策を進めていくためには、職種を問わず全職員に企画立案力や部局（行政委員会や市長部局）の枠組みを超えて施策を推進する力が求められるものと考えます。</p> <p>効果的かつ着実に施策を推進するため、部内職員の政策形成に係る資質と能力を育成するとともに、組織の体制を見直します。また、事務事業の見直しや職員の事務負担軽減を併せて行います。</p>			